



男女共同参画リポーターの「女と男グッドパートナーいきいき講座」に参画しての感想を紹介します。

＊ ひと ひと 女と男グッドパートナーいきいき講座(1回目) ＊

「 一歩を踏み出す男の介護 ～ 母との暮らし～ 」

講師 小宮 俊昭さん (公益社団法人 認知症の人と家族の会 滋賀県支部 世話人副代表)

日時 平成 24 年 9 月 23 日 (日) 午前 9 時 30 分～ 場所 サンライフ甲西

最近、認知症という言葉をよく耳にします。認知症は誰にでもおこりうる脳の病気によるものです。人はいつまでも元気で自立した生活を送りたいと願っているはずです。

今回の講座は、講師自らが現在体験しておられる男性介護を通して、母親の姿や思いを聞かせていただくと共に、認知症介護者としての悩み、不安、生活の工夫等どのように対応すべきかを指し示していただきました。

男性が介護するという事は、仕事を失い経済的にも追いつめられていく場合もあると思います。日常生活の大変さを改めて実感しなければならぬでしょう。だからこそ、介護者は一人で抱え込まず、孤立しないことが大切です。

また、周りの人たちの温かい言葉がけで随分気持ちが和らぎ、それが大きな支えとなり、地域の中で安心して生活ができるのではないのでしょうか。また、色々な介護サービスを知り、利用することで自分自身も楽になり、長続きするということが学ぶことができました。



▲ 講師の小宮俊昭さん

認知症になっても心は生きています。認知症は、早期発見に努めることが大事です。それと共に周囲が正しく理解し、偏見を持たずに本人や家族を温かく見守ることにより、人としての尊厳が守られ、穏やかな生活が続けられなければならないと思います。

私たちは、認知症の問題に関心を持つことが大切です。地域で介護する人や家族を支えていくためには、どのようにすべきかを考えさせられた講座内容でした。



誰もが介護に直面してもおかしくない時代になってきました。性別にとらわれることなく、家庭や地域みんなで支え合える社会にしていきたいですね。

＊ ひとひと 女と男グッドパートナーいきいき講座(2回目) ＊

「働く & 働きたいママ・パパのための 仕事と子育てのハッピーバランス」

講師 廣瀬 香織さん (子育て情報誌“ピース맘”編集長、滋賀県男女共同参画審議会委員)

講師 山田真由子さん (キャリア・コンサルタント、社会保険労務士)

日時 平成 24 年 11 月 24 日 (土) 午前 9 時 30 分～ 場所 石部文化総合センター 会議室



前半 「仕事と子育て どちらも大切に！」

▲ 講師の廣瀬香織さん

子育て支援とは多種多様だと思いますが、働く母のニーズに合う支援はどれだけあるのでしょうか。働く母にとって保育園に子供を預けることのみが支援とならないようにと願います。3才までは母と共に生活するのがよいという3才神話をいまだに感じ、女性を労働から遠ざけている気がします。

滋賀県は「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方が全国より7%多い状況です。ようやく「仕事を続ける方がよい」という考えが増えてきたものの今後、このまま増加するのか後退してしまうのか意識の変化が気になるところです。このことは男女共同参画に関係する考え方の重大な要素であるからです。

子育ても仕事も大切です。どちらかという選択より、両立した時のメリットに目を向けたいと思います。母の働く姿を見るのは悪くありません。保育園のあり方の多様化も働く女性の思いが反映されることにより変化を生む気がします。子育てと仕事のメリットがもっと発信されてもよいのではないのでしょうか。自分で生活のバランスを考え、自己流を通す強い思いは必要ですが、両立のメリットを知ることにより、仕事も育児もさらに充実するのではないのでしょうか。「仕事と子育て どちらも大切に」のお話を聞き、このように感じました。



後半 「ハッピーキャリアプランの作り方」

▲ 講師の山田真由子さん

「ハッピーキャリアプランの作り方」のお話は、キャリアの意味から始まり、とてもわかりやすい内容でした。自己理解を深めるワークも、できること・やりたいこと・やるべき事にまで発展し、やってみるといところでゴールをするのがよかったです。今できることの中で最初の一步を踏み出すことは現在形として新たなスタートになります。それはその後、進行形になる可能性が大きくなり、まさしくハッピーキャリアプランが出来上がります。

ジョブ・ワークキャリア、ライフキャリアは人生の広がりを表します。子育ても立派なキャリアです。このお話を聞いたひとときは、ハッピーで心を満たされた時間となりました。

現代日本において、仕事と子育てを両立することはまだまだ難しいようです。世界経済フォーラムで発表された「男女格差ランキング」で日本は135カ国中なんと101位！国をあげて本気でこの問題に取り組む時が来ているのではないのでしょうか。ご家庭での話題の1つとして取り上げてみてください。



＊ 「未来(あした)に向かって～あなたも私もチャレンジ～」 ＊

「未来(あした)に向かって～あなたも私もチャレンジ～」これは10月に開催しました「“G-NETしが”フェスタ2012」のテーマです。様々な活動をしている皆さんが集い、交流される中に、湖南省男女共同参画リポーターさんの熱心な姿を見つけ、とてもうれしく心強く感じました。フェスタのテーマには「思いや考えを行動や実践に移そう」というメッセージが込められています。当センターも四半世紀を過ぎ、「学びから実践へ」と日々チャレンジをしています。

私たちの最も身近な暮らしの場は地域です。地域には、防災、子育て、介護、まちづくり等様々な課題があります。暮らしやすい地域づくりを進めるためには課題を解決する実践的な取り組みが必要です。その際、固定的な性別役割分担意識を見直し、男女共同参画の視点をもつことがとても重要です。



滋賀県立男女共同参画センター
池田 美幸 所長

湖南省におかれましては、男女共同参画リポーターの皆さんによる地域課題をテーマにした講座やいきいき通信等を通じて、地域に根ざした男女共同参画のまちづくりにチャレンジをされています。

当センターはこれからも地域の男女共同参画のまちづくりを支援していきます。

湖南省の皆さんの「未来(あした)に向かってチャレンジ」に大いに期待しています。

＊ 講演会「ハンサムウーマンとよばれる新島八重子」に参加して ＊

NHK大河ドラマ「八重の桜」を見るにあたり、事前に知っておくと番組が面白いとのPRに誘われて入室してみました。ドラマのヒロインは八重、兄は山本覚馬。八重は女性でありながら砲術の名手で幕末戦場となった会津で戦った。明治の初めに会津は落城し、八重は敗者となり京都の兄のもとへ行く。のちに八重の夫となる新島襄は藩の命令に従わず、封建制度に疑問を持ち、自由を手にするために脱国を決意する。脱国を果たした10年後再び帰国して山本覚馬、八重兄妹に出会う。幕府のために命をかけて戦った八重と封建制度に反発して殿様を見捨て脱国した新島。相反する2人が夫婦となり、八重は夫を支えた。また八重は、夫の没後、従軍看護婦として活躍した。この背景には郷里の会津での戦いで壮絶な死を遂げた白虎隊を思う気持ちがあったと思われます。男性と同等に歩んできた八重の生き様は当時の女性としては珍しく、「日本のジャンヌ・ダルク」と評価されているとのことでした。

新島は平民主義で強いものに巻かれず、人は自由に悪しき政治権力には対決する意思をもつ人物。八重

は「ならぬものはならぬ」という会津の精神をもつ女性で、共通するものがあると感じました。この時代に強い意志を持って行動する女性がいたことを知り、とても心強く、同じ女性として勇気をもらえたお話でした。



※ 新島八重は、「八重」「八重子」どちらの名称も使っていました。

あなたも男女共同参画リポーターになってみませんか？

共同参画リポーターは、地域に根ざした男女共同参画のまちづくりを進めるために設置されています。任期は1年。市内に在住か在勤されている20歳以上の人で、男女共同参画社会について興味を持ち意欲的に活動できる人なら、どなたでも歓迎です。

【今年度の活動内容】

- ・研修会への参加
- ・リポーター会議（年3回）
- ・いきいき講座の開催
- ・「いきいき通信」の発行など

毎年、4月から5月頃に募集していますので、何か男女共同参画ってよくわからないけれど興味があるという人、大歓迎です。これからのライフスタイルについて一緒に考え、発信していきましょう。

募集については、広報「こなん」や市のホームページなどでお知らせします。ご応募お待ちしております！



▲ 男女共同参画リポーターの皆さん

人権擁護課 ビデオのご紹介

『大助 花子の 男・女 どっちが得？』（26分）

企画：滋賀県立男女共同参画センター 制作：宝塚映像(株)

男だから…、女だから…、そんな固定観念の垣根を取り払って、一人の人間としていきいき生きることのできる社会、それが男女共同参画社会です。日々の暮らしの中で「変だな」「おかしいな」と感じたり、気づいたりすることから見つめ直してみましょう。当たり前と見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取り扱いや、固定的な見方が潜んでいることがあります。このビデオは楽しみながら、暮らしの中にある問題点について考えていただける内容となっています。

地域や団体での研修にお使いください！



いつでも
貸し出せます

- 一年間の育児休業を取り、育児に専念する男性
 - トラック運転手として大活躍の女性
 - ベテラン看護師として信頼厚い男性
- 等が登場します。

平成24年度 年間活動内容

- 6月26日 第1回会議…いきいき講座の概要
 - 7月24日 第2回会議…期日、会場、講師の決定、アンケートの内容検討
 - 9月11日 第3回会議…参加体制、当日の時間配分・役割分担
 - 9月23日 いきいき講座（1回目）
 - 10月20日 G-NETしがフェスタ 2012へ参加
 - 10月21日 いきいき講座（2回目）
 - 11月24日 いきいき講座（2回目）
- ※「いきいき通信」の作成（2月 区配布）

女と男グッドパートナー

いきいき通信 Vol.8

■発行 平成25年2月

■編集 湖南市男女共同参画リポーター
（妹背醇、川奈部洋子、西村眞喜子、
廣井美子、望月寛、森貴裕子）
湖南市 人権擁護課

■連絡先

TEL 075201-32000

湖南市中央一丁目一番地
湖南市 人権擁護課

FAXTEL (71) 2354
(72) 2201
Eメール jinken@city.shiga-konan.jp